

ゆりだより



〈製作遊び〉

朝の自由遊びの時間では、空き箱やダンボールを使った製作遊びをしています。「ロボットにする」「一緒にバスを作ろう」とクラスや学年の友達に声を掛けながら一緒に作ることを楽しんでいます。ゆり組になって初めて使用するダンボールカッターは、利き手でしっかりとカッターを持ちながら反対の手で段ボールを押さえて切っています。道具の使い方を確認しながら、空き容器を使って自分の思いを出して製作する楽しさを味わえるように子どもたちに寄り添っていきます。



〈集団遊び〉

戸外では友達と一緒にドッジボールを行っています。年中さんの時に行っていた円形ドッジボールと比べ、2チームに分かれたりバウンドしたボールが当たってもセーフになったりとルールが増えています。対戦後には、チームごとに作戦会議の時間を設けています。勝つためには、「ボールをよく見て逃げる」「ボールを遠くへ投げる」など、子どもたちなりに考えながら楽しんでいます。友達と一緒に力を合わせて遊ぶ楽しさやルールを守って遊ぶ面白さを感じながらおもいきり体を動かせるようにしていきます。



〈母の日のプレゼント作り〉

障子紙を様々な形に折って絵の具に浸す折染めに挑戦をし、写真立てを作りました。「かわいい色になった～」「みんな違う模様だね」と絵の具の変化を楽しんでいました。また、「お母さんはピンクが好きって言ってたよ」「ありがとうって伝わるといいな」とお母さんに感謝の気持ちをもちながら取り組んでいました。プレゼント作りを通して、普段から思っているお母さんへのありがとうの気持ちを言葉にする子どもたちの姿が見られました。



〈母の日の絵〉

お母さんの顔を描くために顔や髪の毛の色を子どもたちと相談しながら絵の具の用意をしました。「メガネもほしい」「髪の毛は長いよね」などお母さんを思い出しながら描き進めていきました。また、顔の周りにはシャボン玉と絵の具、水を混ぜてストローで吹くバブルアートという技法を使って模様をつけました。泡がはぜて模様ができていくと、不思議な形に驚いている子やできた喜びを感じている子がいました。子どもたちが楽しみながら活動できるように子どもたちの声を取り入れて進め、主体性を大切にしていきます。



〈歓迎会に向けて〉

新入園児のたんぼ組さんに春日こども園の楽しさを知り、喜んでもらえるよう歓迎会を開きました。たんぼ組さんのためにどんなことができるか子どもたちと話し合いをしました。「多目的ホールを飾り付けしたいよね」「プレゼントを渡したい！」などと子どもたちの思いを取り入れながら進めていきました。子どもたちが自分の考えを出しながら友達の思いにも寄り添って活動を行えるよう話し合う時間を大切にしていきます。



〈誕生日会〉

4月は、誕生児が言った単語を組み合わせて言葉にするステレオゲームを行いました。「い・ち・ご」と誕生児が一文字ずつ同時に言う「もう一回教えて～」「3文字ってことは分かるんだよ」と言葉を聞き取って組み合わせることの難しさを感じながら楽しんでいる姿が見られました。正解が分かってからもう一度聞いてみると「いちごに聞こえる！」と正解できた満足感を味わっていました。